

未来へつなぐ東海道のみちづくり

保土ヶ谷宿 「東海道の歴史的資源を活かしたみちづくり整備方針」を策定しました！

平成 21 年度から拡幅事業を進めている一般国道 1 号（保土ヶ谷橋工区）（延長約 800m）は、東海道の「保土ヶ谷宿」であったことから、多くの歴史的資源が残されており、また、箱根駅伝では「花の二区」として親しまれている区間です。

この度、これまで積み重ねられた東海道の歴史を、みちづくりを通じて未来へつなげていくために、周辺住民へのアンケート調査を踏まえ、地域史、土木史、景観デザイン、歴史的建造物等各分野の学識経験者と検討を重ね、「東海道の歴史的資源を活かしたみちづくり整備方針」を策定しました！

1 『東海道の歴史的資源を活かしたみちづくり整備方針』の概要

(1) コンセプト

東海道の歴史的資源を活かしたみちづくり

～多くの人に愛されながら保土ヶ谷宿の歴史を紡ぐ～

(2) みちづくりの基本方針

基本方針 1：時代毎に刻まれた歴史を語り継ぐみちづくり

基本方針 2：保土ヶ谷宿周辺の多様な資源をつなぎ回遊の骨格となるみちづくり

基本方針 3：歴史・文化を活かした交流促進と情報発信を支えるみちづくり

基本方針 4：地域とともに創り育てるみちづくり



整備計画の方向

回遊起点となる五つの「辻」の整備や歩行者案内サイン・歴史解説板の設置、軽部本陣跡の門や蔵・旅籠本金子屋跡・保土ヶ谷橋の活用などを実施していくことを検討します。

詳しくは、今回策定した整備方針をもとに、平成 24 年度以降、市民の皆様とともに計画を策定していきます。

※辻：二つの道路が十字に交差していることに由来し、四方からの道が集まる交通の要所や交差点のことを言います。

(3) 今後のスケジュール

	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度以降
整備方針検討 (住民アンケート調査)	→★			
整備計画策定 (市民参加による検討)		→	→	
道路設計			→	→

★平成 24 年 3 月 23 日 第 114 回横浜市都市美対策審議会にて審議し、了承されました。

※上記スケジュールはあくまで予定であり、決定したものではありません。

(4) 整備方針の検討体制

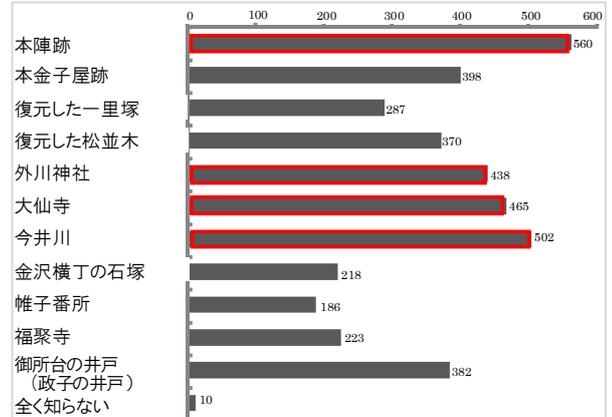
○検討会メンバー：

伊東 孝(日本大学教授)	土木史、景観工学
大野 敏(横浜国立大学大学院准教授)	歴史的建造物・横浜市歴史的景観保全委員
斉藤 司(横浜市歴史博物館 学芸員)	地域史、近世史
佐々木 葉(早稲田大学教授)	景観デザイン・横浜市都市美対策審議会委員

○アンケート概要：

- ・対象者：保土ヶ谷橋工区周辺住民（10自治会）
- ・実施時期：平成23年12月
- ・配布数：3,220票（回収率19%）
- ・結果概要：
 - 宿場町の一部であったことの認知度：93%
 - 保土ヶ谷橋工区周辺の歴史・文化・自然資源の認知度：本陣跡、大仙寺、今井川などが資源として多くの人に認知されている

歴史・文化・自然資源の認知度(n=603)



2 拡幅事業の概要

(1) 区間

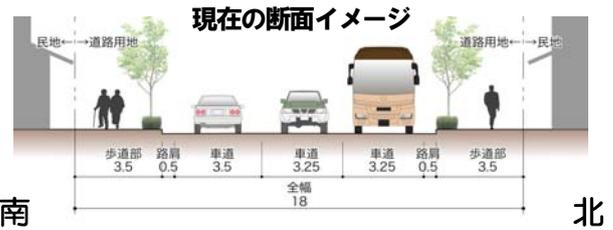
起点：保土ヶ谷区岩井町（上岩間踏切出口信号交差点付近）
 終点：保土ヶ谷区保土ヶ谷二丁目（岩崎ガード交差点付近）

(2) 事業期間

平成21年度～平成27年度

(3) 事業規模

延長：約800m
 幅員：25m（上り3車線、下り2車線の5車線）



お問い合わせ先		
道路局建設課 建設課長	松尾 寛	Tel 045-671-2747
都市整備局都市デザイン室長	中野 創	Tel 045-671-2009
保土ヶ谷区区政推進課長	萩原 健司	Tel 045-334-6220